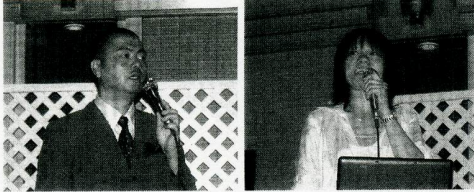


小松新体制始動



校友会紙

東北歯科技工専門学校 校友会 若い息吹を復興のともしびに!



去る七月十七日(日)午後一時より仙台ガールズホテルにて、東北歯科技工専門学校校友会の総会が行われた。未曾有の大災害に見舞われた今年、例年通りの総会ではないけれど、校友会の役員会で意見が噴出し白熱した議論が展開された。そこで、記念講演は著名な講師に依頼する事はせず、卒業生に研究発表会のような形でやって貰うという事で決定した。選挙の結果、横濱在住の二十回生菅原克彦氏と三十四回生櫻山美紗穂さんの二人の卒業生に依頼をした。

『若者の息吹を復興のともしびに』と銘打って発表会は始まった。

新鮮!!卒業生による講演

櫻山さんは、『女性技工士として』と題して本人が横浜で技工所に就業してから現在までのプロセスをその時々的心境を織り交ぜながら、また仕事内容を紹介しながら、楽しく話をしてくれました。菅原氏は、『オーラウンダー』の技工を目指してと、自身が技工所を経営する立場から、経験したとどろき着いた技術の話新しく習得した技工の話題など、いつもの記念講演会と遜色のない中身の濃い発表をしてくださいました。参加した卒業生の中には、『こんなすばらしい先輩を持つて鼻が高い』、『目標が出来ました』、『まだまだ技工士もいけるかも?』など、好印象

前会長 菅野恭助氏が、三期九年務めてきましたが、次の人に繋げたいとの意向で勇退致し、次期会長として理事会と評議委員会として、平成二十三年七月十七日に行われた総会において、会員の方々の承認を得て、就任致しました。歴代六代目会長、第八回生の小松勝です。大役を仰せつかることになりましたが、今までの伝統ある校友会の土台をなお一層築き、今後の更なる発展のため各理事の方々と共に頑張りたいと思いま



新会長挨拶

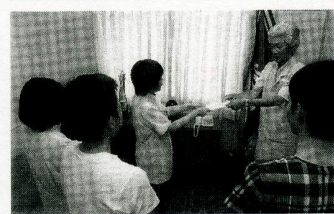
新会長 小松 勝

新役員を紹介致します。副会長三名、理事二十名、監事一名、顧問四名、評議員三十七名、広報八名の方々で、それぞれの部門で活躍して頂くようお願いして選出致しました。『変える』『変わる』『変えた』という言葉があります。これは、ベガルタ仙台の白幡社長が、就任の挨拶で述べた言葉です。私も共感致し校友会も何か変えなければいけないので、校友会をブラスの方向に導き、役員や会員の方々の協力により変わっていくことが、『変わった』と感じて頂けるように頑張りたいと思います。具体的には、総会時にやっていることは、総会時に年別に勉強会をした内容を含め、少人数制で、母校を会場とし、定期的に

学生支援金集まる

校友会から在校生へ

平成二十三年六月四日、東北歯科技工専門学校にて午後三時より評議委員会が開かれた。その席にて一役員により今回の東日本大震災において、在学中の学生も、自宅を流されるなどの甚大な被災を受けている事実を伝え、その学生のためにかかできることはないかとの提案があり、この会議の中で七月十七日に行われる校友会の定時総会、懇親会会場にて学生支援金を募ることに満場一致で可決された。当日、卒業生が一人丸となって我が母校の学生のために二十五三名の方々が支援してくださった。集まった支援金は総額二十六万二千四百円に及ぶ。七月二十八日、東北歯科技工専門学校校長室において小松勝会長より、自宅自壊の被害にあった本科生並びに研修科生合計四名に研修旅行にかかる費用の五〇パーセントにあたる額を学生一人一人に授与した。その際に今回の東日本大震災のお見舞いを申し上げるとともに、大勢の卒業生に見守られ明日を担う一人前の技工士を目指すべく、勉強に励んで欲しいと述べた。支援金を受けた学生の父



兄より「校友会の方々並びに教員の方々の温かい思い、心のこもった支援にとても感謝しております。自分達も一刻でも早く復興できるように頑張ります。本当に有難うございました。」と御礼の言葉がよせられてい

勉強会を行うための環境づくりとか、レクリエーションの企画を、また同級生などの企画を皆さんにいち早くお知らせして参加していただくように、校友会独自のプログラムを立ち上げることを考えています。さて七月に行われた記念講演は、三月十一日の東日本大震災に遭った状況の中で、どの様なかたちで、行こうかという協議した結果、いままでのかたちではないことをやろうという声があがり、発表と題して会員の櫻山さんと菅原さんに『若い息吹を復興のともしびに』というタイトルで、それぞれに思う経験談をお話ししてもらい大盛況でした。またその時に被災に遭った学生にも支援をという声で募金を、お願い致しました。皆さんの御協力によりかなりの額が集まりました。本当にありがとうございます。母校も創立四十七年を迎

24年度学生募集

東北歯科技工専門学校

推薦入試験日
一次募集 平成23年10月15日(土)
二次募集 平成23年11月12日(土)
三次募集 平成23年12月10日(土)
※他に社会人(既卒者)・大学・短期大学卒業生入試もあります。

一般入試験日
一次募集 平成23年11月12日(土)
二次募集 平成23年12月10日(土)
三次募集 平成24年1月28日(土)
四次募集 平成24年2月25日(土)
五次募集 平成24年3月22日(木)

本校卒業生のご子弟やご兄弟が、入学するときに特典があります。詳細はお問い合わせ下さい。 Tel.022-266-0237



懇親会始末記

ホテルガーデンパレスにて

今年の懇親会は年間の校友会の行事をほとんどキャンセルして、総会に力を注ぐという役員会の決定に従い、会費も多分とどろりナブルだった。そのせいかどうか若い人の参加が目立った。それとともに十数年ぶりという会員も多く、若者の息吹を復興の灯火に、と、銘打った役員会の意向を見事に具現化したものと

いえる。菅野恭助前会長の挨拶、佐藤誠技工士会会長祝辞の後、小松新会長の挨拶があり、研究発表会を盛況のうちに行われ、その後、菅原克彦君と櫻山美紗穂さんの発声で乾杯が行われた。ホテルガーデンパレスは初めて懇親会が行われたが、なかなか豪華な料理の数々だった。ただ難を言えば参加者には酒を飲む人、飲めない人、飲まない人がいるわけで、ウーロン茶かジュースしか選択肢がないというのは今の時代どういものだろう。ノンアルコールビールも置くべき。これはホテル側の問題ではないが、役員会の解決すべきことであるに期待しよう。楽しい懇談が続いたが、司会者が十回生の神山淳一氏を壇上と呼び入れた。ご存知の方も多いだろうが、彼はこの度の震災によ

津波で自宅と仕事場、車とバイク、その全てを流された。家族が無事だったとがせめてもの救いだ。といえるが、避難した学校の屋上から自宅が流されていく惨状を目の当たりにした彼の心情を思うと、言葉が失ってしまふ。しかし彼は思いのほか元気だった。復活にむけて着々と行動しているとの事で、そのバイタリティーに感心した。ぜひ頑張ってください。そして恒例のビンゴ大会、今年は震災後ということで賞品も震災グッズが多くなり、まだ「何も終わっていない」感を感じた。懇親会は大盛況のうち幕を閉じた。その後、国分町の「八波亭」に席を移したのだが、別がたい人達で、こまごま超満員、楽しく充実した時間を過ごした。記者は

不覚にも飲みすぎてしまい、最後まで見届けることができなかつたが、来年の再会を約して無事閉会したと総会はつつがなく終わりをつげた。しかし本当に、まだ何も終わっていない事を忘れてはいけない。

来年は震災後ということで賞品も震災グッズが多くなり、まだ「何も終わっていない」感を感じた。懇親会は大盛況のうち幕を閉じた。その後、国分町の「八波亭」に席を移したのだが、別がたい人達で、こまごま超満員、楽しく充実した時間を過ごした。記者は不覚にも飲みすぎてしまい、最後まで見届けることができなかつたが、来年の再会を約して無事閉会したと総会はつつがなく終わりをつげた。しかし本当に、まだ何も終わっていない事を忘れてはいけない。

正孝監事より「平成二十三年六月十日に帳簿等を監査致した結果、適正に会務の遂行がなされたことを認めます。」との監査報告があった。その後審議の末、出席者多数の拍手をもって承認を得た。

八月二十八日(日)十三時から十八時まで鶴見大学会館地下メインホールにて、母校主催による東日本大震災復興支援御礼講演が開催されました。開会式に始まり鎌田校長より、東北歯科技工専門学校の震災の状況を詳細に説明され、全国各地からの激励や支援をいただいた皆様方に対して、感謝の辞と御礼の言葉が述べられ、「今回横濱の地でのこのような形で行われたことは、前例のない恒根を越えた新しい試みではないかと、これを機に大いに盛り上げよう」と挨拶がありました。

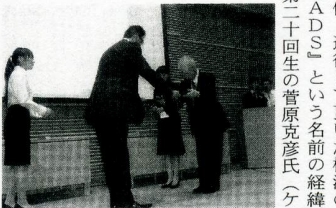
続いて今回会場の設置、準備、進行して頂いた横濱の若手歯科技工士の有志の会「A.D.S」という名前の経緯、活動報告のあと、講演に入り、「A.D.S」という名前の経緯が、「苦しかった修業時代を乗り越えさせたモチベーション」とその先に見えた光」と題して学生時代の思い出、悪い出来事を思い出して、「とで、最初の就職先にて気づき、早稲田トレーニングに入り、そこで三月間のアメリカ研修で考えたことがあることなどを十分間にわたり熱く講演頂きました。

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

最後に大内理事の閉会宣言で平成二十三年定時総会は無事終了した。



8.28 災害復興支援御礼講演 熱きエールに感激

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

最後に大内理事の閉会宣言で平成二十三年定時総会は無事終了した。

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

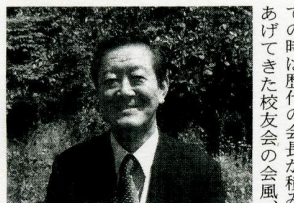
「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

「この度校友会での三十九年間に渡る会長職を辞することになりました。平成十四年に安原前会長より引き継いだのが、ついにこの前のように、あつという間に歳月が過ぎ去つたように思えます。会長になり立って時は歴代の会長が積みあげてきた校友会の会風、あつてきた校友会の会風、

最後に大内理事の閉会宣言で平成二十三年定時総会は無事終了した。



菅野 恭助

第四十二回定時総会議事録要旨

平成二十三年、第四十二回東北歯科技工専門学校校友会定時総会が仙台ガーデンパレスにて、午後三時十五分より開催された。

初めに菅野会長より挨拶があり、次に議長並びに副議長の選出が行われ、議長 進氏、副議長 大久田 秀逸氏、一任より議事録署名人名二名、書記二名が指名され、議事録署名名 岡崎 恵子(会長)、横尾 光(副会長)、伊藤 直美(書記)、洪谷 洋子(書記)がそれぞれ選出された。

続いて岸副会長より次のような会務の報告があった。

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

●報告
・新入会員 四十五回生 三十一名入会
・現会員数 (H23 5/31現在) 三十三名
・平成二十二年年度事業報告
・会誌「窓」四十七号発行 (H22 6/18)
・「窓」四十八号発行 (H22 12/10)
・記念講演会
・二十一世紀の欠損補綴へのアプローチ、インプラント時代における新たな概念と融合 講師 奥森健史先生
・懇親会 KK R ホテル仙台にて

新役員紹介

校友会も小松勝新会長を中心とする新役員が発表された。それに伴って八月十九日午後七時よりホテルレオパレス仙台にて会長、副会長、監事、理事による顔合わせが行われた。新役員は次の通りである。

顧問	五十嵐 洗一	太田 順	19 回生	
林 正美	2 回生	菅原 克彦	20 回生	
鎌田 勇志	2 回生	三浦 修	22 回生	
安原 哲章	3 回生	澤田 孝重	27 回生	
菅野 恭助	6 回生	岩谷 恵	28 回生	
小松 勝	8 回生	打越 秀樹	29 回生	
副会長	岸 高保	9 回生	菅田 宗明	29 回生
菅野 茂	9 回生	氏家智恵美	30 回生	
大沼 真理	10 回生	小野寺久美	31 回生	
理事(会計)	吉田 三三	片倉 裕司	33 回生	
吉田 三三	15 回生	佐々木 崇	35 回生	
平戸 育子	24 回生	坂本 隆憲	36 回生	
阿部 正孝	4 回生	中村 吉文	36 回生	
丹野 雅仁	6 回生	箱崎 清秋	37 回生	
草薙 恵	5 回生	小倉 薫	37 回生	
押山 淳一	10 回生	菅島 大和	38 回生	
熊谷 和郁	14 回生	小野寺美希	39 回生	
伊藤 英行	16 回生	池田 哲也	39 回生	
近藤 洋子	16 回生	兼子慎太郎	40 回生	
芳賀 博	17 回生	高山 誠	41 回生	
島貴 新也	20 回生	青山 勲治	41 回生	
八巻 賢一	20 回生	佐藤 真嗣	42 回生	
佐藤 優	23 回生	須藤 聡士	42 回生	
菊地 優子	25 回生	鈴木彩菜子	43 回生	
後藤 真宏	28 回生	安井 一仁	43 回生	
飯田 昭彦	30 回生	大井 将人	44 回生	
大内雅之介	34 回生	金沢 正隆	44 回生	
佐藤 未帆	39 回生	広報委員		
神永 聡	39 回生	洪谷 洋子	16 回生	
田辺 秀樹	38 回生	田辺 秀樹	10 回生	
生田目希子	26 回生	大沼 真理	8 回生	
監事		押切 和郁	14 回生	
富永 昌克	7 回生	近藤 洋子	16 回生	
阿部 正	8 回生	菊地 優子	25 回生	
吉田 時彦	9 回生	福島 綾子	36 回生	
岡田 孝文	11 回生	神永 聡	39 回生	
佐藤 栄一	12 回生			
菅野 俊一	13 回生			
小野寺由明	14 回生			
末紀恵子	16 回生			
近藤 祥二	18 回生			

た、佐藤未帆です。どうぞよろしくお願いします。今年はいろいろありましたが、私はいろいろと震災復興ライブにけっこう行きまわりました。ミスチル、ゆず、ケツメイシ、どれもかなり盛り上がりまして、歌のチカラがすごいですね。『負けねど宮城』って感じで、いっぱい元気をもらいました。その中でもゴクゴクの活動停止にはショックでしたけど、早く元気になって戻ってきてほしいと思います。それと今年はもうひとつ、職場に新しい仲間が増えました。私の勤める技工士は男性ばかりだったのですが、今回はなんと女性。しかも以前から尊敬している先輩で、憧れの技工士です。職場に女性が増えるって嬉しいですね。ガールズトークが楽しくて、なかなか手が動きません。ではそろそろ本題に。最近、学校の校友会のイベントに若い人達が来てくれた。一つ小松先生が言ってくれました。私も行った行かなくなったりなので、人の事は言えませんが、でも若い技工士、女性の技工士はたくさん来るようになった。新しい出会いもあって、その中で情報交換や相談、グチを言い合える仲間がどんどん増えたら楽しいと思うんです。みんなが毎回参加してくれるような校友会を、みんなで作っていったらいいなって思っています。

を並べて学ぶ事に些か不安と抵抗がありました。実際に入学してみると、自分と同じ様に大学、社会を経て、入って来る人達も少なからずおり、また、高校新卒で入って来た人達も、違和感なくつきあう事が出来た。先生方は皆何十年と、キャリアを積んでこられた経験豊富なベテランの方々でしたので、実習中、出来ない時や、分からない事に親切丁寧な御指導を下さいました。就職先は、御縁があり、職場見学でお世話になった、富澤歯科医院に採用していただき、現在二年目を向えております。職場の先輩方は、四人中三人が本校の出身で、全員が十年以上のキャリアを積んでいる方々です。技術的なアドバイスは勿論の事、職場内でのルールや仕事に対する心構えも、丁寧に教えてくれますので、毎日が勉強の日々です。今年、ようやく職場の雰囲気にも慣れてきた矢先に、大震災に見舞われ、名取、岩沼地域は、通常考えられない付近近辺まで、津波が押し寄せ、甚大な被害を受けました。幸いにも、当歯科医院は、大きな被害もなかつた。一週間で診療を再開する事が出来ましたが、患者さんや、他の歯科関係の方々の中には、被災された人達も少なからずおりました。私も、仕事をしながら先輩方との技術的なギャップに悩む事もありましたが、被災された方達に比べれば大した事ではありま

せん。私は今の目の前の課題を一つずつクリアしながら頑張りたいと思います。三十七回生 小倉 薫 この度、新しく評議員になりました。三十七回生の小倉薫です。本科を卒業後、研修科を経て、現在は宮城野区の歯科医院に勤務しています。今年8月目で保険をメインにやっています。最近では自費のホーセレンをやらせていたように、最近では患者さんと接する機会がありました。ただ作るだけではない、患者さんの希望を聞き、それに対応させて、患者さんの笑顔を見られた時は、この仕事をしていて良かったと思っています。

と思える瞬間です。また、医院の先生やスタッフとの交流も院内ならではの、一つの機内に対して双方の意見を聞いたり、模型だけではわからない患者さんの情報をもとにやり取りが出来る点で日々の技工に役立っています。今は、インプラントが先行している時代になってきていて、医院でもいくつかの症例があり、まだ直接は関わっていないのですが、今後インプラントも含め率先して自費補綴に携わっていきたいと思います。最後に、本校と疎遠になっていた私を役員に選んでいただきありがとうございます。これからには校友会の一員として、一人の技工士として頑張りたいと思っています。

三十九回生 神永 聡 小松会長に広報委員よろしくと言われ、何も考えずに返事をしてしまいました。が、文章なんて小学校の時に書いた作文くらいで、文才がある訳もなく、どちらかといえば理系な人生を送ってきた僕に広報委員が務まるかどうか自信はないのですが、何かの役に立っているのではないかと、自分出来る事を一杯頑張ろうと思います。出身地は福島県大熊町です。今年になって少し有名になってしまったあの町で、僕が歩けるうちに、もう一度生まれ育った町をこの目で見て回りたいと思っています。休日は、滝を見に出掛けたり、森林浴をしたりして自然の中で過ごして、仏閣や寺院をめぐって、歴史に触れる事が好きです。しかしながら出不精な性格な上に虫嫌いなので、虫

の活発な時期はあまり屋外に行きたくないので年に2〜3回程度しか出かけられないのが実情です。いつか虫嫌いを克服して、世界遺産や世界三大瀑布を見て回るのが夢です。仕事は、ご存知の方もいるとは思いますが、昨年末より東北歯科技工専門学校で働いています。学生の時は「先生って楽そうではないか」と思っていました。端から見るとやるのが大変で、初めて技工に触れる人に知識や技術を教えるというのはこんなにも難しいものかと日々実感しています。自分は学生の頃は生意気でいつも寝ていて先生に注意される事が多々あったので、そんな昔の自分と重ねると、どのように話しをしたら耳を傾けやすいか、どのようなニュアンスで伝えたら分かりやすいかと試行錯誤しながら学生達と向き合っています。今は教員、広報委員と母校の為に頑張っていますのでよろしくお願ひします。

三十六回生 福島 綾子 突然の広報委員のお誘い話にただ驚きました。文章を書く事に多少のアルキルを感じながらも、いつか克服できることを願ひしつつ、広報委員を引き受けることとなりました。福島綾子。宮城県多賀城市出身。最近はおつていま作ったのは、フォードサングラードの6代目ピツッパードでした。今思えば少々渋めだったように思いますが、その時の私には、お店の天井まで積み上げら

三十八回生 佐藤 未帆 まさかの『理事』に大抜擢!!その場のノリで受けてしまつて、小松先生:アタシでいいの?って感じながらも新しく理事になりました。

四十四回生 金沢 正隆 初めまして、四十四回生の金沢正隆と申します。私は平成二十年、本校に三十四歳で入学いたしました。入学前は、一回り以上年齢の離れた人達と共に机

委員長 洪谷 洋子 私が広報委員になってから前の職場に恭助先生から広報委員の依頼の連絡があった。私に白羽の矢が立ったのは学校の近くの職場である押切先生が委員長を降りるようになってほしいと話を運ばれたらしい。広報委員は何をするのかわからな

三十九回生 神永 聡 小松会長に広報委員よろしくと言われ、何も考えずに返事をしてしまいました。が、文章なんて小学校の時に書いた作文くらいで、文才がある訳もなく、どちらかといえば理系な人生を送ってきた僕に広報委員が務まるかどうか自信はないのですが、何かの役に立っているのではないかと、自分出来る事を一杯頑張ろうと思います。

三十六回生 福島 綾子 突然の広報委員のお誘い話にただ驚きました。文章を書く事に多少のアルキルを感じながらも、いつか克服できることを願ひしつつ、広報委員を引き受けることとなりました。

草話

マンカ劇場

No.66

いいばいゆわが



編集後記

スポーツといえば、ついこの間まで「なでしこジャパン」の澤はまれ選手だったが、10月の世界体操を見

(K・O)

てからは、やはり内村航平選手です。男子体操金メダルなのに、エレガンス賞を獲得するなんて、着地もさることながら技のひとつひとつにキレがあり目が釘付けになってしまいます。天才なのに努力もするということもすばらしい!

「技」という字は、技工士の「技」と一緒なので内村選手を見習えるものなら見習いたいですね。我が校友会も小松新会長を迎えて、そのやる気を出すような、若くて新しい力が執行部に加わり、回り始めていきます。新会長推薦の選りすぐりの新役員達が一

ブログ開設のお知らせ

校友会の活動報告をしていくブログを校友会のホームページに開設します。行事のインフォメーションや、会員の意見も広く取り入れていく予定です。開設時には本校のブログなどお知らせします。(E・K)

のスリルだったり、マシンや排気音のかっこよさだったり、さらにそれをカスタード色んなタイプのバイクがありそれぞれ魅力とコントロール特性をもっていて、それもまたおもしろい。そのほかにコーナーリング時

のスピードだったり、マシンや排気音のかっこよさだったり、さらにそれをカスタード色んなタイプのバイクがありそれぞれ魅力とコントロール特性をもっていて、それもまたおもしろい。そのほかにコーナーリング時

大沼真理のテクニカルワンポイントアドバイス

正確な模型製作するうえで重要な事は、印象採得後如何に早く印象体に石膏泥を注ぐかである。(注・付加型シリコン印象材は、水素ガス発生による気泡や荒れを防ぐ為、十五分間放置が必要である。)

院内ラボであれば問題は無いが、外注ラボの場合は取引先の歯科医院まかせになっているのが実情ではないだろうか。医院のスタッフがすぐ石膏を注いでくれる所は稀で、採った印象を水中に漬けて置き後からまとめて石膏泥を注ぐ所が多いと聞く。

印象材がラバー系ならともかくアルギン酸塩印象材やアルギン酸塩、寒天連合印象の場合、水を膨潤して著しく変形してしまう。

日本補綴歯科学会のデータによると、アルギン酸塩印象材を水中浸漬した場合印象体の寸法変化は約1.8%から2.0%で、この印象体で製作した石膏模型の寸法変化率は約3%の変形とある。

また、アルギン酸塩印象、寒天印象採得後の保管方法として、

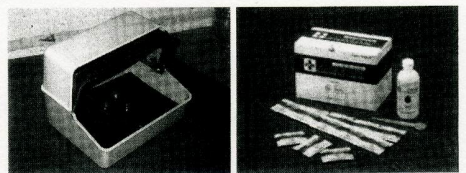
- ① 空気中 → 収縮が激しいので極力短時間とする。
- ② 水中 → 膨潤が激しいので極力短時間とする。
- ③ 100%相対湿度中 → 最も寸法変化は少ないが、長時間の保管は避ける。

の3通りあるが理想なのは③で、要するに機密性の湿気箱に入れて置くのが最良である。また別の方法として、デンツプライサンキンから「アルジガード」というアルギン酸塩印象材除菌・固定剤が発売。

この製品は同社から発売されている「アルジエースZ」と併用する事により長時間(3時間)浸漬しても問題が無く、忙しい時の漬置き保管が可能である。

他社の印象材の場合でも短時間浸漬(1時間以内)であれば殆んど問題無く水中浸漬保管時よりも精度保持が確実に行えるそうである。そして今話題の院内感染から身を守る事が出来れば言う事無しである。

少々コストは掛かるが、取引先の医院に勧めてみては如何であろうか。



杜の都仙台から心を込めた最高のサービスをお届け致します。

土屋歯科商店は

宮城県を中心に歯科医療機器等の販売を通して、医療機関の良きパートナーであり続ける為に、日々進化する時代のニーズにいち早く対応し、アフターサービスや付加価値の高い提案をする事で、地域社会の健康と歯科医療の更なる発展に貢献してまいります。

Speedy and Authentic Service

高度なネットワーク体制で応対いたします
スピーディーな対応で商品の納品及び情報の提供をいたします
アフターサービスまで万全の体制でお手伝いいたします



TSUCHIYA DENTAL SUPPLY CO., LTD

フリーダイヤル/0120-002485 TEL.022-221-2485 FAX.022-224-8377
http://www.tsuchiya-dental.co.jp/ E-mail: info@tsuchiya-dental.co.jp